

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和4年6月24日（金）

1. 基本事項

施策		高齢者福祉の推進		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	福祉健康部 長寿福祉課
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	目的・対象	高齢者が住み慣れた地域において、安心して暮らせることを目的としています。		
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり				
	小項目	2	高齢者福祉の推進				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	高齢者福祉に対する市民の重要度は高く逆に満足度は低い状況となっている。急速に進展する高齢化と福祉ニーズの多様化・高度化により、更なるサービスの充実が求められている。			施策推進のための主な取組	質の高い介護サービスの充実 介護保険制度の円滑な運営 地域包括支援センターの充実 生活を支援する福祉サービスの充実		
施策を取り巻く社会状況等	高齢化により介護サービス利用者が増加し、併せて介護給付費も増大している。介護保険法改正により在宅医療と介護の連携が求められ、地域での相談窓口の充実や質の高い福祉サービスが求められている。						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			達成	達成	達成	一部達成	一部達成	
成果指標	75歳以上の要介護・要支援認定率	%	-	31.40	31.40	31.40	31.40	31.40
			30.70	29.60	29.40	28.95	28.20	
	ふれあい・いきいきサロンの延べ参加者数	人	-	17,625.00	17,715.00	17,805.00	17,895.00	17,985.00
			18,831.00	21,202.00	19,529.00	4,131.00	5,813.00	

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
75歳以上の要介護・要支援認定率は、減少傾向にある。介護が必要なかたに対して、適切な介護サービスの利用促進を図り、大里広域市町村圏組合及び関係機関と連携し、介護保険制度の円滑な運営を図る。また、ふれあい・いきいきサロンの延べ参加者数については、令和2年度と比較すると増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催を中止する期間もあった。引き続き、地域における保健福祉活動の振興を図り、高齢者の自立と生きがいがづくりを推進する。				
			評価者	長寿福祉課長 笠原 正

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等	
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことを目的として、高齢者の介護予防を促進し、介護予防事業、包括的支援事業及び任意事業を実施する。 また、高齢者を地域で支える仕組みづくりを推進し、老人クラブ活動、ふれあい・いきいきサロンなど高齢者の集いの場づくりを支援する。	
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案		
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小		
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編		
<input type="checkbox"/> その他		

5. 二次評価（所属長の見解）

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続け、元気で生きがいを持って安心して生活できることを目的として、高齢者の自立支援、介護予防、重度化防止、社会参加、生きがいがづくりに関する対策を実施していくものとする。また、高齢者が介護を必要とする状態となっても自立した日常生活を営むことができよう、介護保険制度の円滑な運営を図る。	
所属長	福祉健康部長 清水 良保